

事務事業チェックシート

事務事業No **481** 事業名 **市道管理事業（管理）**

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		道路橋梁費	
	目		道路橋梁総務費	
	大事業		道路総務事業	
事項		市道管理事業（管理）		

[長期総合計画]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	1	道路網の整備
施策	2	生活道路の整備
基本方針	2	道路・橋梁・トンネルの適正管理

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標	IV	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る
政策	1	都市のコンパクト化
施策	I	道路・公共交通ネットワークの整備

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束				○

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	永年
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	道路管理課	木村 芳裕	435-1088
関連課			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	市道の管理事業	道路占用許可及び占用料の受領、境界明示申請及び証明、道路の引取及び市道認定、道路台帳の作成、特殊車両の協議及び幅員証明、街路灯の電気料金支払、苦情処理等の事業				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		今年度に約9km市道認定し、道路の適正管理をした。	今年度に約6km市道認定し、道路の適正管理をした。	今年度に約21km市道認定し、道路の適正管理をした。	市道認定を行い道路の適正管理を行う。	市道認定を行い道路の適正管理を行う。

2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費等 千円	事業費	144,728	141,958	80,472	82,191	103,480	98,690	103,669		103,669	
	伸び率 (%)	-	-	-44.4%		28.6%		0.2%		0.0%	
	人件費	常勤職員	85,785	77,399	77,399	26,950	26,950	25,104	25,104		25,104
		非常勤職員	7,037	7,473	7,473	5,590	5,590	8,943	8,943		8,943
		小計	92,822	84,872	84,872	32,540	32,540	34,047	34,047		34,047
	国庫支出金										
	県支出金		69,300								
	市債										
	その他	154,548	155,062	153,330	154,933	154,210	156,007	154,793		154,793	
	一般財源（税等）	-83,320	-82,404	-72,858	-72,742	-50,730	-57,317	-51,124		-51,124	
所要人数	常勤職員	11.56	10.19	10.19	3.55	3.55	3.38	3.38		3.38	
	非常勤職員	3.57	4.09	4.09	2.74	2.74	3.15	3.15		3.15	
主な予算内訳		光熱水費48,944千円、損害賠償保険1,049千円、管理委託4,669千円、道路台帳作成26,429千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度						
成果指標	市道認定の長さ				年度目標値					
					実績値					
	単位	km	全体目標値	1,130	全体目標達成度	96.6%	年度別達成度	99.3%	99.7%	99.7%
					年度目標値	1,100	1,100	1,110	1,120	1,130
				実績値	1,092	1,097	1,106			
				年度目標値						
				実績値						
				年度別達成度						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	○ できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	○ 貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市道の増加に伴う管理コストの上昇が見込まれる。
「見直し」 「改善」案	